

週刊市議会報告

日本共産党

2006年8月21日 No966

<発行>

日本共産党浦安市議団

市役所内控入室

(議会棟1階) (350)1243



力を合わせて
住みよい浦安市へ



市議会議員
元木美奈子

(355)8526

入船4 37 14

minamotonton

@jcom.home.ne.jp



市議会議員
森野 卓郎

(350)4513

堀江4 8 1 230

morino@lake.dti.ne.jp

アドレス変更いたしました



市議会議員
井原めぐみ

(353)4730

東野2-8-13

i_megumi

@d8.dion.ne.jp



「施設利用振興公社入札に市幹部職員不当介入」



日本共産党に寄せられた内部告発文書

平成18年8月1日
成田正樹

井原めぐみ様

中村理事による文化会館総合管理業務入札への不当介入について

突然手紙を差し上げまして、失礼いたします。

私は、浦安市総務部参事として、現在、(財)浦安市施設利用振興公社に勤務しております。

過日、公社が管理する文化会館総合管理業務入札に関し、市、中村理事の、不当介入があり、市長に対し、事実経過の調査を、求めた次第です。

その結果、市長より口頭にて、誤解を招く行為であるが、不正とは見なせず、嚴重注意した。との回答がありました。

私は、この回答には、到底納得できず、市長への手紙、また、公益通報者保護法(18年4月1日施行)により、市に、通報いたしました。(内容は、別紙の通りです。)

市の事務方のトップが、別組織の入札にまで、介入したこと。ましてや契約担当者を使って、行った事は、組織的な犯罪行為であり、到底許されることではないと、思っております。

通報以後、市長からは、何の回答もありません。

私は、この際、議会の場で、徹底追及をしていただき、クリーンな市政を、取り戻すことを、望んでおります。

以下、通報内容、入札資料等を、お送りしましたので、よろしくお願ひいたします。

事件の経過

内部告発資料によれば、不当介入の経過は以下のとおりです。

平成18年3月20日、

今月はじめ、施設利用振興公社の入札に市の事務方の最高幹部である中村健理事が不当介入したという告発が、公社の成田正樹常務より日本共産党を含む複数の会派や議員に寄せられました。

現職の市職員が氏名、身分、連絡先を明らかにして告発するということは大変な重みを持つています。この重みをしっかりと受け止め、日本共産党は議会での真相究明とともに、清潔公正な市政をとりもどすために全力を尽くします。

浦安市文化会館総合管理業務の公社の入札が執行されましたが、その4日前の3月16日午後5時45分頃、市の中村理事の指示により、契約管財課の職員が

同入札に関わる入札参加者名簿及び金額入り設計書等一式計8枚のコピーを文化会館に取りにきています。

同日午後5時55分頃、資料受け渡しの報告を受けた成田常務が中村理事からの資料返却を要求。18時頃、さきほどの契約管財課職員より公社に「これから中村理事が会館に行くので直接そちらで資料をお返しする」との電話連絡があり、18時15分頃中村理事自身、資料一式を返却。返却さ

資料持ち出しは市の組織的行為

松崎市長は平成16年6月議会で中村健氏を助役に選任する人事案件を議会に出しましたが、賛成6、反対14で否決されました。その後、市議会にはかる必要のない「理事」という役員に任命した経緯があり、まさに市長の「右腕」の幹部職員です。

百条委での真相究明を!

議会は全力で真相究明にあたる責務があります。日本共産党は、地方自治法に基づき証言を求めるとのことのできる百条調査特別委員会の設置を呼びかけます。

市長が「不正とはみなせず」としながらも「嚴重注意」としたのは、資料持ち出しの事実確認ができたからです。告発者の通報に対し、真実を明らかにし、自らの政治責任をとるべきです。



日本共産党の新人
みせ 麻里